

『自動車整備士1級小型筆記 問題と解説令和4年版 下巻』 に関するお詫びと訂正のご案内

『自動車整備士1級小型筆記 問題と解説令和4年版 下巻』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。よろしくお願い申し上げます。

初 版

<p>P9</p> <p>誤</p> <p>更新：[2022.10.17]</p>	<p>【2】 図1に示す異常検知範囲をもつ図2の半導体式油圧センサ回路の異常検知に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[H29.3]</p> <p>※略</p> <p>☑ 1. ①の箇所では断線が発生した場合、半導体式油圧センサが起動せず、入力回路に0Vが入力されるため、マイコンは下限値の閾値をダウン・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。</p> <p>4. ④の箇所では線間に短絡が発生した場合、入力回路に電源電圧の5Vが入力されるため、マイコンは上限値の閾値をアップ・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。 ※削除</p> <p>2. 半導体式油圧センサ内部（信号線系統）で断線が発生した場合、センサからの信号電圧が遮断され、入力回路に0Vが入力されるため、マイコンは下限値の閾値をダウン・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。</p> <p>※略</p>
<p>P10</p> <p>誤</p> <p>正</p> <p>更新：[2022.10.17]</p>	<p>【3】 図1に示す異常検知範囲をもつ図2の半導体式油圧センサ回路の異常検知に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。[R4.3]</p> <p>※略</p> <p>3. ③の箇所では断線が発生した場合、半導体式油圧センサが起動せず、入力回路に0Vが入力されるため、マイコンは下限値の閾値をダウン・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。</p> <p>4. ①の箇所では断線が発生した場合、半導体式油圧センサが起動せず、入力回路に0Vが入力されるため、マイコンは下限値の閾値をダウン・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。</p> <p>【3】 図1に示す異常検知範囲をもつ図2の半導体式油圧センサ回路の異常検知に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。[R4.3]</p> <p>※略</p> <p>3. ③の箇所では断線が発生した場合、5V安定化電源回路から抵抗（R）を経由した信号電圧5Vが入力されるため、マイコンは、上限値の閾値をアップ・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。</p> <p>4. ①の箇所では断線が発生した場合、5V安定化電源回路から抵抗（R）を経由した信号電圧5Vが入力されるため、マイコンは、上限値の閾値をアップ・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。</p>

3. ③の箇所では断線が発生した場合、5V安定化電源回路から抵抗(R)を経由した信号電圧5Vが入力されるため、マイコンは、上限値の閾値をアップ・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。
4. ①の箇所では断線が発生した場合、5V安定化電源回路から抵抗(R)を経由した信号電圧5Vが入力されるため、マイコンは、上限値の閾値をアップ・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。

※破線で切り取り、該当箇所に貼り付けてください。